

## 人口問題審議会「特別委員会報告書」(人口白書)を公表

厚生大臣を始め関係各大臣の諮問機関である人口問題審議会(山本正淑会長)は、昭和59年6月20日の総会において、いわゆる「人口白書」を承認し、渡部恒三厚生大臣に報告した。この白書は、昭和49年以来10年ぶりに同審議会の「国際人口会議に関する特別委員会」(黒田俊夫委員長)によってまとめられたものである。

既報(本誌第170号)のように、本年8月メキシコシティにおいて国連主催の国際人口会議が開催されるが、人口問題審議会は、10年前のブカレスト会議のときの経緯を踏まえて特別委員会を設置し、今回のメキシコ会議に向けてわが国の対応を審議すると同時に、これも前例にならって「人口白書」を作成することを決定していたものである。

この報告書の内容について詳述する紙幅はないが、簡単な紹介の意味で「まえがき」と章節だてを示すと次のとおりである。

### 人口問題審議会特別委員会報告書

昭和59年6月

#### ま え が き

本審議会は昭和34年に引き続き、昭和49年に我が国人口の動向を総合的に分析し、問題点を指摘した「日本人口の動向——静止人口をめざして——」を発表した。

昭和49年は、国際連合によって「世界人口年」と定められ、人類の命運を左右すべき地球人口の将来と食糧の需給、資源の消費、環境の悪化などの諸問題について真剣に考え、世界の人口問題との関連において、各国がそれぞれの人口問題とその対策を考究すべき年であった。また、同年8月には、ルーマニアの首都ブカレストで国際連合主催の世界人口会議が開かれ、画期的な「世界人口行動計画」が採択された。

ブカレスト会議以降、世界の経済社会情勢は大幅に変化し、発展途上国における人口増加をはじめ、急速な都市化、国際人口移動等、世界の人口問題の多くはいまだに未解決のままである。このため国際連合は、これらの課題に対処するため昭和59年8月にメキシコシティにおいて国際人口会議を開催する。

我が国においても、昭和49年以降出生率が急激に低下したのをはじめ、人口動向が大きく変化し、その結果としての急速な人口の高齢化が、我が国の人口問題における最重要課題となっている。

人口の変動は経済社会の変動と深く関連しつつ進行し、しかもその変化はかなり後にまで影響を及ぼすので、人口問題への対応は極めて長期的なものでなければならない。また、人口高齢化の問題は広範囲にわたり、かつ相互に複雑に関連しているため、総合的な観点からの政策の推進が必要である。

国際人口会議を契機に、本審議会は次のような観点からこの報告書を取りまとめることとした。

- (1) 人口は経済社会の基礎となるものであり、その対応には総合的、長期的な視点が重要である。
- (2) 高齢化社会への対応は国民全体の課題であり、人口問題に対する国民の理解・認識を高めることが不可欠である。
- (3) 我が国の人口問題も世界の人口問題との関連において考える必要がある。

本報告書は総論において、各章の論旨を要約するとともに、我が国の現在及び将来の人口動向ならびに人口問題に関連して若干の提言を行い、あわせて国際人口会議に臨む我が国政府の基本的立場と役割について述べている。第1章においては、人口の高齢化を中心に、日本人口の動向を総括的に述べている。第2章で出生、第3章で死亡、第4章で人口移動を論じた後、第5章で高齢化社会を迎えるにあたって、人口の観点から特に重要と考えられるポイントを指摘している。また、世界の人口問題について十分な認識を持つことは極めて重要であり、さらに、近く国際人口会議において世界の人口問題が討議されることにもかんがみ、最後に、最新の国連の資料をもとにして、世界人口の動向と問題をまとめている。

人口の高齢化を中心とした我が国の人口動向とその問題について、広く国民の理解と認識が高まり、あわせて世界の人口問題について国民の関心が高まることを期待する。

(以下は章節の見出しである)

## 総 論

第1節 日本人口の現状と問題点

第2節 日本の人口問題に対する対応の方向と提言

第3節 国際人口会議に対する日本の立場と役割

## 第1章 静止人口と高齢化の進展——日本人口の回顧と展望——

第1節 静止人口に向けて

第2節 高齢化社会の到来

第3節 人口高齢化の社会経済的影響

## 第2章 なぜ最近出生率が下がったのか

第1節 最近の出生率低下

第2節 結婚時期が遅くなった

第3節 「2人っ子」の線は崩れているか

第4節 定着した家族計画

第5節 出生率の見通し

## 第3章 健康と長寿を求めて——死亡と平均寿命の動向——

第1節 世界最長寿命国への歩み

第2節 死亡率はどのように低下したか

第3節 死亡率低下の背景——社会経済的要因と死亡率——

第4節 平均寿命はどこまで伸びるか

## 第4章 人の住み方はどう変わったか——人口分布と人口移動——

第1節 人口分布と都市化

第2節 人口移動はなぜ起こるか

第3節 将来どの地域にどれだけ人が住むか

## 第5章 高齢化社会を迎えるにあたって

## 付 録 世界人口の動向と問題

第1節 世界人口の動向

第2節 出生率と死亡率の変化

第3節 年齢構造の変化とその影響

第4節 人口の都市化

第5節 国際人口移動の変化

第6節 人口政策の現状

(以上のようにっており、これに参考となる関連統計資料が付されている)

なお、この報告書は『日本の人口・日本の社会——高齢化社会の未来図』と題して公刊(東洋経済新報社、本年8月初)される予定である。

## 第36回日本人口学会大会

日本人口学会の第36回大会は、昭和59年6月1日(金)、2日(土)の両日にわたり、中央大学多摩校舎(東京都八王子市東中野)において開催された。今回の大会は、中央大学経済学部の岡田實教授を委員長とする大会運営委員会の多大のご尽力によって盛大に行なわれ、終始熱心な雰囲気の中に充実した大会日程を終了した。